

水と灯火の夕べ

8月25日

19時~21時

場所 / 中元寺川、彦山川合流点

長幸区

カナダ

毎月1日・15日発行

8/15日号

大地震発生 その前に……



9月1日は『防災の日』
8月30日～9月5日は『防災週間』

身を守る備えと行動

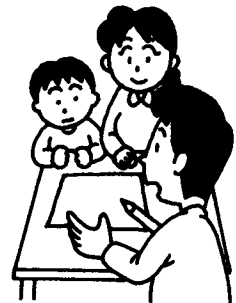
平穏な日常生活を突然襲う大地震。その発生を事前に予測することは困難です。しかし、地震が起きたときにひとり一人が適切な行動をとることで、被害を最小限に食い止めることはできるはず。いざというときに落ち着いて行動するためには、日ごろから震災に対する心備えと備えを万全にしておかなければなりません。

グラッとくる
前に準備する

家庭で「防災会議」を開こう

大地震の際、あわてずに行動できるよう、普段から次のことを話し合っておきましょう。

- ①家庭の中でどんな所が安全か
- ②非常持ち出し袋に何をいれ、どこに置くか
- ③避難するとき、だれが何をもち出すか
- ④火元をだれがチェックするか
- ⑤消化器、救急医薬品、非常食などをだれが点検しておくか
- ⑥避難路や最終的な避難場所、連絡方法をどうするか



こうした事項について、家族の役割分担を含めて考えておきます。避難路や避難場所は地域ごとに指定されているので、確認をかねて一度は歩いてみましょう。また、昼の場合と夜の場合、職場や学校など、家族がバラバラになっているときのことを考えて、確実に連絡し合える方法を決めておきましょう。自分の血液型や避難場所、親戚・知人の連絡先などを書いた「避難カード」を家族全員で携帯するのも一案です。

防災訓練への参加

たとえば、火災が発生したときに消化器の使い方がわからなければどうしようもありません。

普段から地域や職場などで行われる防災訓練に参加して、初期消火、避難訓練などの非常時の防災行動と知識を身につけておくことが必要です。防災の日、防災週間には各地で防災訓練が開催されますので、こうした催しには積極的に参加しましょう。



阪神・淡路 大震災での 住民防災活動

●神戸市長田区の事例 バケツリレーで共同消火

地域の自治会長たちの呼びかけで、住民がバケツや洗面器を使ってリレー方式で貯水槽から水を運び、消火に当たりました。最終的には200人を越す住民が作業に参加。また、燃え上がって崩壊しかかる家屋を火元側に押し出すなどで延焼をくい止め、被害の拡大を防ぎました。

●西宮市甲子園地区の事例 500食を炊き出し

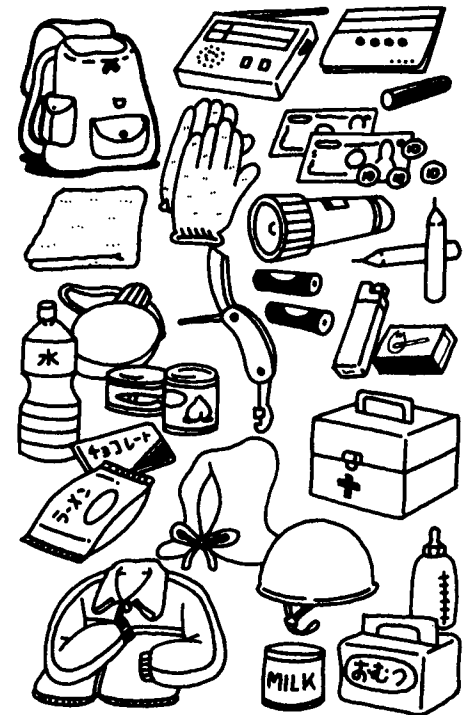
地区の婦人防火クラブは、普段から防火技術、応急手当などの習得や地域の防火活動を行っていました。クラブは被災者のための食事の救援が必要と考え、メンバーをはじめとする有志の手で、4日間で500食の炊き出しを行いました。

●北淡町の事例 地域を知る消防団の活躍

地域住民の暮らしや家族構成に精通する消防団は、倒壊家屋のどこに何人の住民が生き埋めになっているかをすばやく察知し、短時間で集中的な救助活動を行いました。その結果、家々の下敷きになっていた約300人全員を救助。また、消火栓が使用不能のなか、竹ぼうきなどを使ってボヤを消し止め、同時に各戸のプロパンガスボンベの元栓を閉めて回りました。

●非常持ち出し袋チェック項目

<input type="checkbox"/>	飲料水・水筒	一人1日3ℓが目安。2～3日は自力で生活することを考えて。
<input type="checkbox"/>	食料品	缶詰・ビスケット・チョコレート・インスタントラーメン (赤ちゃんのいる家庭は、粉ミルク・ほ乳びんなども)
<input type="checkbox"/>	医薬品	消毒薬、傷薬、胃腸薬、脱脂綿、ばんそうこう、包帯など。
<input type="checkbox"/>	貴重品	現金のほか、預金通帳や印鑑など。電話用に10円玉も用意。
<input type="checkbox"/>	ヘルメット・防災ずきん	落下物から頭を保護するものをすぐに取り出せるところに。
<input type="checkbox"/>	手袋	ガレキの撤去や援助に、軍手など厚手の物を用意。
<input type="checkbox"/>	マッチ・ライター	湿気やガス切れに注意。防水マッチなども市販されている。
<input type="checkbox"/>	ロウソク	濡れないようにビニール袋に入れて保管する。
<input type="checkbox"/>	懐中電灯	夜間、すぐに手が届くところにも置いておく。
<input type="checkbox"/>	ラジオ	情報収集に欠かせない。懐中電灯と一体型のももある。
<input type="checkbox"/>	乾電池予備	ラジオや懐中電灯に使用するものを多めに。
<input type="checkbox"/>	衣類	セーター・ジャンパー・下着など。雨具もタオルも用意。
<input type="checkbox"/>	毛布	寝袋や、体温を逃がさないサバイバルシートなども重宝。
<input type="checkbox"/>	ナイフ・缶切り	十徳ナイフなどの多機能ナイフが便利。



■これらは一般的な非常持ち出し品の目安であり、中身や量は家族で話し合って工夫する。持ち運びはリュックサックタイプの背負える袋で、重量は、男性で15キログラム以下、女性10キログラム以下となるように。

■家族に病人、妊婦、赤ちゃんがいる場合は、担当医などに相談し、必要な物を用意。

■このほか、飛び散ったガラスによるケガを防ぐため、寝室などにも厚手のスリッパや運動くつをあらかじめ備えておく。

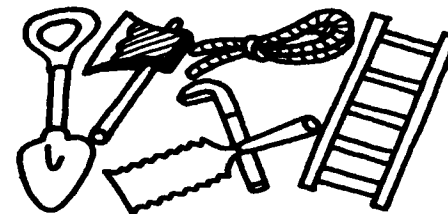
■子どもには常に、氏名・血液型・連絡先(住所・電話番号・避難場所)・保護者名・学校名などを記入した物を身につけさせておく。

●救助のための道具

建物の下敷きになった人を救うのは、素手では無理。救助のための道具も用意しておくこと。家庭だけでなく、職場、学校、町内会などでも救助用具を準備し、置き場所をみんなが知っておくようにする。

主な道具

おの、パール、のこぎり、スコップ、くわ、つるはし、はしご、ロープ、担架



●そのほかの備え

- ①消化器、三角バケツなどの消火器具をすぐ使える場所に置く。
- ②家具の転倒や落下物を防ぐため、金属などで固定。窓や食器棚のガラス戸にはガラス飛散防止フィルムを貼ると、ケガの危険が少なくなる。



- ③家屋の柱、土台、屋根瓦、ブロック塀などの点検・補強を。

大地震が起きたら

①身の安全を守る

揺れを感じたら、机やテーブルの下に身を隠し、身近な座布団などで頭部を保護します。ドアや窓を開けて脱出口を確保することも大切。すぐに飛び出すと、瓦やガラス、外壁などが落ちてくる可能性があるため注意しましょう。



②火災を防ぐ

使用中のガス器具、電気製品、石油ストーブなどは直ちに消すこと。万一火が出たら、あわてずに消化器などでボヤのうちに消し止めます。手に余るようなら大声で近所の人に応援を求めましょう。浴槽に水をためておけば、いざというときに役立ちます。



③速やかな避難

避難は徒歩が原則。車は渋滞を引き起こし、消火・救援活動の妨げとなります。自宅を離れるときは電気のブレーカーを切り、ガラスの元栓を閉めていくこと。崩れやすくなっているがけや川べり、高い塀や建物には近寄らないようにします。津波や土砂崩れの危険がある場合には速やかに安全な場所に避難しましょう。



児童扶養手当制度をご存じ?

父親のいない18歳までの児童の母や、母に代わってその児童を養育している人に対して手当を支給する制度です。

児童扶養手当を受けることができる人

- ・ 父母が婚姻を解消した児童
(父から仕送りや、子供の安否を気づかう電話・手紙などの連絡が一切ないこと)
- ・ 父が死亡した児童
- ・ 父が障害の状態にある児童
(年金の障害等1級程度。ただし児童が公的年金の加算対象となっている場合を除く)
- ・ 父の生死が明らかでない児童
- ・ 父から1年以上遺棄されている児童
- ・ 父が1年以上拘禁されている児童
- ・ 母が婚姻によらないで懐胎した児童
(父から認知され養育されている場合を除く)
- ・ 昭和60年8月1日以降に手当の支給要件に該当してから5年を経過していない児童

特別児童扶養手当制度をご存じ?

20歳未満で心身に障害のある児童の扶養のために、その父母または、養育者に対して手当を支給する制度です。

特別児童扶養手当を受けることができる人

- ・ 日本国内に住所がある
- ・ 精神又は身体に障害を有する児童を監護している父か母、または、父母に代わってその児童を養育している人
(障害の程度によっては受けられない場合があります)

※児童扶養手当・特別児童扶養手当ともに受けることができない方がいます。また、申請に必要な書類がそれぞれあります。

詳しいお問合せは

福祉課福祉係 ☎22-6664

行方不明者を捜す相談所

警察本部では、9月を「行方不明者等捜索強化月間」として、次のとおり相談所を特設します。

次のような問題を抱えて困っている人は、お気軽にご相談ください。

相談に行くときは、写真、戸籍謄本など手がかりになるものをご持参ください。秘密は守ります。

相談の内容

- ・ 家を出て長期間になるが、行方がわからない。
- ・ 遺書や日常の言動から自殺のおそれがある。
- ・ 病弱、高齢、年少などのため死亡しているかもしれない。
- ・ 犯罪の被害者となっているおそれがある。

日時/9月17日から21日 9時～16時

場所/福岡県警察本部1階144会議室(県庁のとなり)

詳しいお問い合わせは

福岡県警察本部刑事部鑑識課十指指紋係
☎092-641-4141(内線3373)

麻しん(はしか)予防接種の予約

次のとおり麻しん(はしか)予防接種を行います。接種を希望する人は、9月6日までに電話でお申し込みください。

接種の受け方/生後12か月～14か月の間に1回。

(この時期に受けられなかった子は、90か月まで受けられます。)

日時/9月12日(木)、19日(木) 13時30分～14時(両日とも)

会場/吉田医院(糸田町大熊4152番地)

持っていく物/母子健康手帳

お問い合わせ、お申し込みは

福祉課環境衛生係 ☎22-6664

あたたかい善意ありがとうございました

社会福祉法人 金田町社会福祉協議会

次の皆さんからご寄付をいただきました。

この寄付金は、社会福祉事業充実のため有意義に活用させていただきます。

ありがとうございました。

香典返し

- 中村 修二様(宝 見) [故・中村サト様]
- 井戸 智明様(上金田) [故・井戸ヨソ工様]
- 春永 義克様(七十石) [故・春永崇志様]
- 福田 幸雄様(新町1) [故・福田フミ子様]
- 安武 豊 様(人 見) [故・安武ミツ子様]

「リビングピアふくおか」8月オープン

キャナルシティ博多 のビジネスセンタービル2階のショールームゾーンに「リビングピアふくおか」が8月にオープンしました。

当展示場はハウスメーカーや住宅設備機器メーカーの参画協力を得て、住宅に関する情報を公正かつ中立的な立場から発信する《住宅拠点情報交流拠点》として位置づけています。

詳しいお問い合わせは

「リビングピアふくおか」
☎092-282-9240

(財)福岡県建築住宅センター
☎092-781-5169

平成8年度個人事業税第1期の納付は9月2日まで

田川県税事務所

納期限までに納めていただきますよう、ご協力をお願いします。



まちの歴史探訪にごいっしょしませんか?

次のとおりふれあい探訪を行います。どなたでも参加は自由です。

お弁当、水筒を忘れずに。

日時/9月14日 9時～

集合場所/金田町総合会館

コース/円大山常立寺→神崎遺跡→法蔓山鶴林寺

→権七権現→日尾山常楽寺(南木釈迦堂)

→菅原神社→飯土井神社

雨天の場合/総合会館でスライドを使って説明会などを行います。

詳しいお問い合わせは

社会教育課 ☎22-2200まで

福岡県行政書士試験

平成8年度行政書士試験を次のとおり行います。

試験日時/10月27日 13時～17時

試験会場/福岡工業大学講義室

受験手続き/所定の受験申込書に写真、福岡県領収証紙(取り扱い先/福岡銀行伊田、後藤寺支店)6,900円分そのほか必要書類をそえて9月20日までに県総務部地方課行政係まで提出してください。(郵送の場合は当日の消印有効)

受験申込書の配付場所/県庁内県民情報センターまたは、筑豊地区県民情報センター(県飯塚総合庁舎1階)

詳しいお問い合わせは

福岡県総務部地方課行政係 ☎092-622-6391

会社も学校も工場も、みんないっしょに事業所・企業統計調査。



調査票を受け取りに伺います。

10月1日は事業所・企業統計調査。調査票が届いたら、一緒にお渡ししました「調査票の記入のしかた」をご覧の上、もれなく記入してください。折ったり、丸めたり、汚したりしないようにお願いします。調査票は10月1日以後、調査員が受け取りに伺います。ご協力をお願いします。



平成8年10月1日(火)

9月下旬から調査員がお伺いします。

総務庁統計局 福岡県